

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	大規模木質構造設計法小委員会	主 査 名：稲山正弘 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会においては、階数や規模、スパンの大きな木造建築物について、構造設計法の確立のために検討すべき課題を整理し、そのために有用な既往の実験研究等文献を収集するとともに、様々な角度から構造設計法の内容を検討し、各委員が各項目についてとりまとめて執筆し、大規模木造建築の構造設計法に関する技術基準・仕様書等を完成させることを目的とする。</p> <p>2014 年度：JIS A3301 木造校舎の構造設計標準による設計のための技術資料作成 2015 年度：木造トラスの構造設計用技術基準および標準仕様書の作成 2016 年度：高耐力壁および長スパン水平構面の構造設計用技術基準の作成 2017 年度：これまでの成果物を大規模木造技術基準・仕様書として完成させる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：稲山正弘 (東京大学)、幹事：荒木康弘 (建築研究所) 委員：原田浩司 (木構造振興)、川原重明 (木質環境建築)、望月英二 (竹中工務店)、朝川剛 (日建設計)、腰原幹雄 (東京大学)、岡本滋史 (TE-DOK)、蒲池健 (山田憲明構造設計事務所)、福山弘 (東京大学)、角野大介 (日建設計)、横山俊祐 (大阪市立大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	11 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会・パネルディスカッション	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. これまでの成果を「JIS-A3301 木造校舎の構造設計標準による設計のための技術資料」としてとりまとめる作業を小委員会メンバーで分担して行ってきた。その結果、日本規格協会からの JISA3301 の出版に合わせて今年度末にこの技術資料が文科省より出版される予定であり、当初の目的が達成される予定である。</p>
委員会活動の問題点 ・ 課題	なし